

平成28年度 「各部の運営方針と目標」掲載 ≪個別事業評価表≫

| 事業名 | | コミュニティ・スクールを基盤とした小・中一貫教育の充実と発展 | | | | | | | | | | 個別事業掲載No | 教 — 1 |
|---------------|-------------|---|-----------|--------|--|------------|----------|--------|------------------|-----|------------|----------|-------|
| 当初計画 | 事業概要・事業量 | <p>【事業概要】 コミュニティ・スクール委員会の活動の充実と積極的な広報により、学校・家庭・地域の連携を進めるとともに、地域人財の育成に取り組み、コミュニティ・スクールの機能の充実を図る。 自律的な学園・学校経営の推進に向けた学校評価・学園評価の計画的な実施と、学校支援体制の一層の充実を図る。 実施方策に基づく小・中一貫教育の充実により、学園として一体感のある教育を推進する。</p> <p>【事業量】 ・「学園のスタンダード」に基づき、学校、家庭、地域が一体となった児童・生徒の望ましい学習習慣や生活習慣の定着に向けた啓発と実践に向けた取り組みの推進 ・にしみたか学園開園10周年記念事業の実施 ・コミュニティ・スクールの理念の継承・活動の発展に向けた支援体制の充実と研修会・学校支援者養成講座等による地域人財の養成 ・コミュニティ・スクールだより等を活用した積極的な広報活動の推進</p> | | | | | | | | | | | |
| | スケジュール | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
| | 事業の成果(目標) | <p>CS連絡会① CS連絡会② CS会長・副会長連絡会① CS会長・副会長連絡会②</p> <p>学校支援者養成講座 企画 教育ボランティア養成講座、CS委員対象講座 実施</p> <p>・ 市立小学校卒業者の市立中学校への進学者数の割合の増加 ・ 学校支援ボランティアの登録者数及び参加数の増加 ・ 研修会や学校支援者養成講座の実施</p> | | | | | | | | | | | |
| 中間評価 | 上半期の実績・課題等 | <p>各学園のコミュニティ・スクール委員会が円滑に進み、なおかつ課題等の情報交換が行えるよう、会長を対象とした「CS連絡会」を4月、6月に、会長、副会長を対象とした「CS会長・副会長連絡会」を7月に開催した。CS連絡会では、「学園のスタンダード」「学校支援ボランティア」に基づく各学園の取組状況等の報告及び情報共有を行った。CS会長・副会長連絡会では、各学園に共通した部会ごとに分かれ、情報交換及び今後の課題について共有した。各学園の課題や要望等について意見をきくことができ、今後、対応できるものについては支援していく計画である。</p> | | | | | | | | | | | |
| | 事業評価審査会特記意見 | <p>政策的に評価・意見等 重点的に取り組む課題とする。</p> | | | | | | | | | | | |
| | 主管課評価 | 1 | 事業評価審査会評価 | | 1 | 1 重点的に取り組む | | | 2 経常業務の一環として取り組む | | 3 見送ることとする | | |
| 事後評価 | 実績 | <p>・ 児童・生徒の望ましい学習習慣や生活習慣の定着に向けた「学園のスタンダード」を適宜改善し、学校・家庭・地域が一体となった取り組みを行った。 ・ 10月26日に、にしみたか学園10周年記念事業（式典・講演）を第二中学校会場で開催した。 ・ 2月25日に、コミュニティ・スクール委員を対象とした研修会を実施した。また、三鷹ネットワーク大学と連携した学校支援者養成講座を2回実施した。教育ボランティアについては、各学園で随時学校支援者に対する説明会を実施した。 ・ コミュニティ・スクール会長を対象とした連絡会を2回、会長・副会長を対象とした連絡会を2回計画通り実施し、学園間の情報交換及び交流の機会とした。 ・ コミュニティ・スクールだよりの紙面の工夫やカラー版の発行等により、保護者や地域の方々へ積極的に情報発信した。</p> | | | | | | | | | | | |
| | スケジュール | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
| | 事業の成果(実績) | <p>CS連絡会① CS連絡会② CS会長・副会長連絡会① CS会長・副会長連絡会②</p> <p>学校支援者養成講座 企画 学校支援者養成講座・CS委員対象研修会</p> <p>・ 市立小学校卒業者の市立中学校への進学者数の割合 82.2%（平成27年度比 2.8ポイント増） ・ 学校支援ボランティア登録者数 2,855人（平成27年度比 84人増） ・ 学校支援ボランティア参加者数 20,350人（平成27年度比 3,527人増） ・ 学校支援者養成講座・CS委員対象研修会を実施</p> | | | | | | | | | | | |
| | 事業の総括(主管課) | <p>コミュニティ・スクール委員会を中心に、学校評価・学園評価を着実に実施し、児童・生徒の声や地域・保護者の意向を反映させ、継続的に学園・学校の教育活動の改善を図った。また、児童・生徒の望ましい学習習慣、生活習慣の定着に向け、各学園の地域特性を踏まえた「学園のスタンダード」の実践に取り組んだ。また、にしみたか学園が10周年を迎えて、10周年記念式典及び講演会を開催した。10年の軌跡を振り返り、今後の学園の発展に向け、認識を共有できた事業となった。</p> <p>各学園のコミュニティ・スクールだよりのカラー化や内容の充実により、地域・保護者に積極的にコミュニティ・スクールの活動等を発信できた。また、コミュニティ・スクール委員対象研修会では、文部科学省の基調講演及び熟議を行い、各学園の今後のコミュニティ・スクールの在り方について考える機会となった。</p> <p>市立小学校卒業者の市立中学校への進学者の割合は、82.2%（平成27年度比 2.8ポイント増）となった。引き続き、学校・家庭・地域の協働により一層の小・中一貫教育の充実を図る。学校支援ボランティアの登録者数については、前年度比84人増の2,855人になり、参加者数については、延べ人数が3,527人増の20,350人となった。今後も、広報活動、研修会、養成講座等の充実を図り、学校支援ボランティアの裾野の拡大と支援内容の充実を図る。</p> | | | | | | | | | | | |
| 事業評価審査会評価・意見等 | | | 予算執行 | 27年度実績 | | 28年度当初 | | 28年度実績 | | | | | |
| | | | | 予算額 | 75,174千円 | | 76,702千円 | | 76,698千円 | | | | |
| | | | | 決算額 | 68,782千円 | | | | 71,278千円 | | | | |
| | | | | 執行率(%) | 91.5% | | | | 92.9% | | | | |
| 主管課評価 | 1 | 事業評価審査会評価 | | 1 | S 計画以上 1 計画どおり 2 計画の7割未満 3 その他（取組方針の変更等） | | | | | | | | |

平成28年度 「各部の運営方針と目標」掲載 ≪個別事業評価表≫

| | | | |
|-----|---|----------|-------|
| 事業名 | 生涯学習センター・総合スポーツセンターの開設に向けた取り組み（三鷹中央防災公園・元気創造プラザのオープンに向けた取り組み） | 個別事業掲載No | 教 — 2 |
|-----|---|----------|-------|

| | |
|------|---|
| 当初計画 | 【事業概要】 平成28年度の完成をめざし、三鷹中央防災公園・元気創造プラザの整備を進めるとともに、平成29年度における生涯学習センターと総合スポーツセンターの円滑な開設に向け、移転に係る準備等を計画的に推進する。また、引き続き、市長部局と連携し、関係する審議会、団体等との調整を図りながら、指定管理者等との協働による最適な管理運営体制を構築するとともに、市民の多様なニーズに応える魅力あるプログラムの開発や市民の参加と協働を推進するための運営の仕組みづくりを進める。 【事業量】 ・施設整備の推進と開設準備 ・指定管理者の指定に向けた準備 ・施設設置条例施行規則の検討 ・事業計画等の検討 ・利用者懇談会立ち上げ等の準備、準備会の開催 ・社会教育会館、下連雀図書館及び第一、第二体育館と相撲場の閉館イベントの検討 |
| | スケジュール 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月 施設整備の推進と開設準備 竣工・引っ越し 指定管理者の指定 指定管理者の指定議案の上程（議会） 基本協定の締結 選定委員会 関係する審議会、団体等との調整 施設設置条例施行規則の確定（9月議会行政報告） 事業内容、実施主体、事業予算等の検討、整理 事業計画等の作成 調整・準備 利用者懇談会立ち上げ等の準備 利用者懇談会準備会開催（1回） 利用者懇談会準備会開催（2回） 社会教育会館、下連雀図書館及び第一・第二体育館と相撲場の閉館イベントの検討、調整、準備 イベント開催 |
| | 事業の成果（目標） 生涯学習センターと総合スポーツセンターの開設に向け、移転に係る準備等を計画的に推進するとともに、最適な管理運営体制を構築し、市民の多様なニーズに応える魅力的なプログラムの開発や参加と協働の仕組みづくりを進める。 |

| | |
|------|---|
| 中間評価 | 上半期の実績・課題等 施設整備については、7月31日付けで、元気創造プラザと総合スポーツセンターからなる建物部分の仮引渡しが行われ、8月からは公園工事が開始された。指定管理者については、第2回市議会定例会において、公益財団法人三鷹市とスポーツと文化財団に決定したことから、7月15日付けで同財団と基本協定書を締結した。また、8月には施設設置条例施行規則案を作成した。下半期も開設、移転に係る準備等を計画的に推進する。 |
| | 事業評価審査会特記意見 政策会議評価・意見等 |
| | 主管課評価 3 事業評価審査会評価 3 1 重点的に取り組む 2 経常業務の一環として取り組む 3 見送ることとする |

| | |
|--|--|
| 事後評価 | 実績 ・施設整備の推進と開設準備 ・指定管理者の指定に向けた準備 ・施設設置条例施行規則の検討 ・事業計画等の検討 ・利用者懇談会立ち上げ等の準備 ・社会教育会館、下連雀図書館及び第一、第二体育館と相撲場の閉館イベントの検討 |
| | スケジュール 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月 施設整備の推進と開設準備 竣工・引っ越し 指定管理者の指定 指定管理者の指定議案の上程（議会） 基本協定の締結 選定委員会 関係する審議会、団体等との調整 施設設置条例施行規則の確定（9月議会行政報告） 事業内容、実施主体、事業予算等の検討、整理 事業計画等の作成 調整・準備 利用者懇談会立ち上げ等の準備 社会教育会館、下連雀図書館及び第一・第二体育館と相撲場の閉館イベントの検討、調整、準備 イベント開催 |
| | 事業の成果（実績） ・施設整備の完了 ・各センター開設に向けた移転の完了 ・指定管理者の指定 ・施設設置条例施行規則の確定 ・事業計画等の作成 ・事業実施に向けた調整・準備 ・利用者懇談会立ち上げ等の準備 ・社会教育会館、下連雀図書館及び第一、第二体育館と相撲場の閉館イベントの開催 |
| | 事業の総括（主管課） 施設は計画どおり2月に竣工し、3月には各センターの開設に向け、移転を完了した。施設の管理運営については、7月15日付けで指定管理者である公益財団法人三鷹市スポーツと文化財団と基本協定書を締結した。また同財団と連携しながら、新施設で更に市民サービスを充実できるよう、市民の多様なニーズに応える多彩で魅力的なプログラムや各種事業の検討、実施に向けた調整、準備に取り組んだ。10月には、第3回市議会定例会での議決を経て、生涯学習、スポーツ施策について、平成29年度から市長部局へ移管できるよう組織条例の一部改正を行うとともに、施設設置条例施行規則を公布した。さらに、利用者懇談会の立ち上げ等の準備を進めた。社会教育会館、下連雀図書館及び第一、第二体育館と相撲場の閉館イベントについては、いずれも盛況に開催することができた。 |
| | 事業評価審査会評価・意見等 予算執行 27年度実績 28年度当初 28年度実績 予算額 0千円 100千円 100千円 決算額 0千円 98千円 執行率(%) 0.0% 98.0% |
| 主管課評価 1 事業評価審査会評価 1 S 計画以上 1 計画どおり 2 計画の7割未満 3 その他（取組方針の変更等） | |

平成28年度 「各部の運営方針と目標」 掲載 ≪個別事業評価表≫

| | | | |
|-----|---------------------------------|--------------|-------|
| 事業名 | 教育支援の充実と「校内通級教室（仮称）」の設置に向けた取り組み | 個別事業 掲載No | 教 — 3 |
|-----|---------------------------------|--------------|-------|

| | |
|------|---|
| 当初計画 | 【事業概要】 東京都の「特別支援教室の導入ガイドライン」に基づき、児童が在籍している学校で、児童の特性に応じた自立活動や教科の補充指導等を行う「校内通級教室（仮称）」を平成30年度までに市内全小学校に設置する。平成28年度は、指導内容・指導方法や教員の育成・専門性の向上等に向けた検討を進め、実施方を策定するとともに、29年度に開設する東部地域9校の施設整備を行う。 また、福祉・保健・医療等関係機関と連携した支援を進めるスクールソーシャルワーカーを拡充し、子どもの貧困対策への対応も含め、児童・生徒や保護者へのよりの確かな支援のために、子ども家庭支援ネットワークとの緊密な連携を図りつつ、教育相談員や市配置のスクールカウンセラーによるスクールソーシャルワークを強化する。 【事業量】 ・PT及びWG等を活用し、指導内容・指導方法や教員の育成・専門性の向上等に向けた検討と実施方の策定 ・市内全小学校（15校）のうち平成29年度に「校内通級教室（仮称）」を設置する東部地域9校の準備（施設整備、対象者の確定等） ・子どもの貧困対策への対応も含め、教育相談員や市配置のスクールカウンセラーによるスクールソーシャルワークの強化 |
| | スケジュール 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月 ◎校内通級教室（仮称）実施方の策定 校内通級教室（仮称）設置に向けたWG・PTでの検討・準備（通年開催） ○校内での事前相談 ○通級設置校の教員との相談 施設整備工事（小学校9校） ○校内通級支援委員会（仮称）の開催及び準備 ○教育支援推進委員会 教育支援推進委員会○ スクールソーシャルワークの効果的な活用とその検証（通年） |
| | 事業の成果 （目標） ・指導内容・指導方法や教員の育成・専門性の向上等に向けた検討を行い、実施方を策定する。 ・校内通級教室（仮称）の設置に向けて、市内15小学校のうち東部地域9校の施設整備など準備を行う。 ・子どもの貧困対策への対応も含め、教育・福祉・医療等関係機関による連携件数や頻度を高め、子どもを取り巻く環境の改善を図る。 |

| | |
|------|---|
| 中間評価 | 上半期の 実績・課題等 校内通級教室設置に向け、実施方針（案）を策定するため、PTを5回、検討Gを2回、WGを9回開催し協議を行った。先行して特別支援教室を開設している他市を視察するなど、計画的に取り組みを進めている。夏季休業中に、市内15小学校のうち東部地域の9校の施設整備の工事を実施している。 8月現在、スクールソーシャルワーカーと就学相談担当教育指導員等との連携のほか、福祉・保健・医療等関係機関とのケースに応じたさまざまな連携が行われている。 |
| | 事業評価 審査会 特記意見 政策会議 評価・意見等 重点的に取り組む課題とする。 |
| | 主管課評価 1 事業評価審査会評価 1 1 重点的に取り組む 2 経常業務の一環として取り組む 3 見送ることとする |

| | |
|--|--|
| 事後評価 | 実績 ・校内通級教室の設置に向けた校内通級教室PT（7回）、検討G（4回）、WG（17回）会議の開催 ・「三鷹市校内通級教室実施方針（平成28年10月）」及び「校内通級教室実施要領（平成29年3月）」策定 ・市配置スクールカウンセラーによるスクールソーシャルワークの強化 |
| | スケジュール 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月 ◎校内通級教室（仮称）設置に向けたWG・検討G・PTでの検討・準備（通年開催） ◎校内通級教室実施要領策定 ○校内での事前相談 ○通級設置校の教員との相談 施設整備工事（小学校9校） ○校内通級支援委員会の開催 ○教育支援推進委員会 教育支援推進委員会○ スクールソーシャルワークの効果的な活用とその検証（通年） |
| | 事業の成果 （実績） ・校内通級教室の設置に向け、校内通級教室プロジェクト・チーム等における検討を踏まえ、「三鷹市校内通級教室実施方針」及び「校内通級教室実施要領」を策定した。 ・市配置のすべてのスクールカウンセラーをスクールソーシャルワーカーに拡充し、ニーズに対しより迅速に対応したことにより、関係機関との連携件数が384件（対前年度比 160件増）となった。 |
| | 事業の総括 （主管課） 校内通級教室の設置に向け、校内通級教室PT、検討G、WGの会議をそれぞれ7回、4回、17回開催し、「三鷹市校内通級教室実施方針」及び「校内通級教室実施要領」の策定や教室の環境整備など、平成29年4月からの巡回指導開始に向けて、準備を行った。 子どもの貧困対策への対応を含めたスクールソーシャルワークの強化については、市配置のすべてのスクールカウンセラーをスクールソーシャルワーカーに拡充し、ニーズへの迅速な対応により、関係機関との連携件数が384件（対前年度比 160件増）となり、子どもを取り巻く環境の改善を図った。 |
| | 事業評価 審査会 評価・意見等 子ども発達支援センターとの連携についても積極的に推進すること。 予算執行 27年度実績 28年度当初 28年度実績 予算額 56,891千円 80,358千円 83,062千円 決算額 50,998千円 73,698千円 執行率（%） 89.6% 88.7% |
| 主管課評価 1 事業評価審査会評価 1 S 計画以上 1 計画どおり 2 計画の7割未満 3 その他（取組方針の変更等） | |

平成28年度 「各部の運営方針と目標」 掲載 ≪個別事業評価表≫

| | | | |
|------------|---------------------------------|-----------------|-------|
| 事業名 | 高山小学校時限付き新校舎の整備など児童・生徒数増への適切な対応 | 個別事業掲載No | 教 — 4 |
|------------|---------------------------------|-----------------|-------|

| | | | | | | | | | | | | | |
|------------------|--|--|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|
| 当初計画 | 事業概要・事業量 | <p>【事業概要】 児童数の増加により、新たに普通教室の確保が必要となる高山小学校について、平成27年度に行った実施設計に基づき、平成29年4月からの使用開始に向けて時限付き新校舎を整備し、適正な学習環境の確保を図る。 また、引き続き、全市域を対象に住宅開発の状況等を注視しながら児童・生徒数及び学級数の将来推計の更新を行い、中・長期的な課題を抽出しながら適切な対応を図る。</p> <p>【事業量】</p> <ul style="list-style-type: none"> 高山小学校時限付き新校舎整備工事の実施 工事概要説明会（平成28年7月上旬予定） 児童・生徒数及び学級数の将来推計の適切な更新と必要な対応策の検討 | | | | | | | | | | | |
| | スケジュール | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
| | 高山小学校時限付き新校舎整備工事（契約日：平成28年6月下旬・完了予定日：平成29年2月24日） ◀ ■ 工事概要説明会（平成28年7月上旬予定） ▶ | | | | | | | | | | | | |
| 事業の成果（目標） | 高山小学校時限付き新校舎整備工事を安全かつ円滑に実施し、適正な学習環境の確保を図る。 | | | | | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | | | | | |
|--------------|--------------------|---|---|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| 中間評価 | 上半期の実績・課題等 | 6月16日に請負者との契約が締結され、7月3日に保護者及び近隣住民を対象とした工事説明会を開催した。当初予定のとおり、夏休みから現場に着手し、順調に工事は進んでいる。今後も、公共施設課と連携を図りながら、安全かつ円滑に工事が進むよう進行管理に努めていく。 | | | | | | | | | | | |
| | 事業評価審査会特記意見 | 重点的に取り組む課題とする。 | | | | | | | | | | | |
| | 政策会議評価・意見等 | | | | | | | | | | | | |
| 主管課評価 | 1 | 事業評価審査会評価 | 1 | 1 重点的に取り組む 2 経常業務の一環として取り組む 3 見送ることとする | | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----------------------|---|---|-----------|--|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|--|-------------|--------|--------|--------|-----|----------|-----------|-----------|-----|----------|--|-----------|--------|--------|--|-------|
| 事後評価 | 実績 | <ul style="list-style-type: none"> 高山小学校時限付き新校舎整備工事の実施 工事概要説明会（平成28年7月3日） 児童・生徒数及び学級数の将来推計の適切な更新と必要な対応策の検討 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | スケジュール | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 高山小学校時限付き新校舎整備工事（契約日：平成28年6月16日・完了日：平成29年2月24日） ◀ ■ 工事概要説明会（平成28年7月3日） ▶ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 事業の成果（実績） | 児童数の増加により、新たに普通教室の確保が必要となる高山小学校について、平成27年度に行った実施設計に基づき、時限付き新校舎の整備工事を実施し、平成29年4月からの使用開始に向けて適正な学習環境を確保することができた。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 事業の総括（主管課） | 児童数の増加により、新たに普通教室の確保が必要となる高山小学校について、平成27年度に行った実施設計に基づき、時限付き新校舎の整備工事を実施した。平成28年7月には工事説明会を開催し、保護者及び近隣住民の皆様のご意見をいただきながら、順調に工事を進めることができた。新校舎には、普通教室8教室に加え、多様な教育活動を行うための施設として、2階に多目的室、1階に第二理科室、子どもたちの安全安心の観点から、教員が常駐できるよう第二職員室、保健室を配置している。さらに、エレベーターや誰でもトイレを設置するなど、バリアフリーにも配慮した施設となっており、平成29年4月からの使用開始に向けて適正な学習環境を確保することができた。 児童・生徒数及び学級数については、中・長期的な課題を抽出しながら必要な対応を図るため、全市域を対象に住宅開発状況等を踏まえた適切な将来推計の更新を行い、庁内プロジェクト・チームでの情報共有を図った。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事業評価審査会評価・意見等 | | | | | | | | | | | | | <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center; vertical-align: middle;">予算執行</td> <td style="text-align: center;">27年度実績</td> <td style="text-align: center;">28年度当初</td> <td style="text-align: center;">28年度実績</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">予算額</td> <td style="text-align: center;">11,972千円</td> <td style="text-align: center;">392,573千円</td> <td style="text-align: center;">394,321千円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">決算額</td> <td style="text-align: center;">11,972千円</td> <td style="background-color: #cccccc;"></td> <td style="text-align: center;">393,663千円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">執行率（%）</td> <td style="text-align: center;">100.0%</td> <td style="background-color: #cccccc;"></td> <td style="text-align: center;">99.8%</td> </tr> </table> | 予算執行 | 27年度実績 | 28年度当初 | 28年度実績 | 予算額 | 11,972千円 | 392,573千円 | 394,321千円 | 決算額 | 11,972千円 | | 393,663千円 | 執行率（%） | 100.0% | | 99.8% |
| 予算執行 | 27年度実績 | 28年度当初 | 28年度実績 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 予算額 | 11,972千円 | 392,573千円 | 394,321千円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 決算額 | 11,972千円 | | 393,663千円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 執行率（%） | 100.0% | | 99.8% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 主管課評価 | 1 | 事業評価審査会評価 | 1 | S 計画以上 1 計画どおり 2 計画の7割未満 3 その他（取組方針の変更等） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

平成28年度 「各部の運営方針と目標」掲載 ≪個別事業評価表≫

| | | | |
|-----|----------------------|--------------|-------|
| 事業名 | 学校施設の長寿命化改修工事の計画的な実施 | 個別事業 掲載No | 教 — 5 |
|-----|----------------------|--------------|-------|

| | |
|---------------|--|
| 当初計画 | 【事業概要】 平成26年度に実施した学校施設における非構造部材の耐震点検及び老朽度調査の結果を踏まえて、平成27年度に策定した整備方針に基づき、学校施設の長寿命化改修工事を計画的に推進する。長寿命化改修工事では、屋上防水、外壁塗装、窓改修やトイレ改修、バリアフリー施設の整備とともに、天井材、照明器具など非構造部材の耐震対策に取り組む。平成28年度は、第七小学校の実施設計を行う。 なお、工事の実施にあたっては、国の補助制度を活用し、財源確保に努める。 |
| | 【事業量】 ・第七小学校長寿命化改修工事実施設計等業務の実施 |
| | スケジュール 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月 ← 第七小学校長寿命化改修工事実施設計等業務（契約日：平成28年5月下旬・完了予定日：平成29年3月31日） → |
| 事業の成果 (目標) | 第七小学校長寿命化改修工事実施設計等業務を実施し、安全で快適な教育環境の整備を推進する。 |

| | | |
|------|---------------------|--|
| 中間評価 | 上半期の 実績・課題等 | 業務内容の精査に時間を要し、予定より約1箇月遅れて7月1日に契約締結となったが、現場調査や概算工事費の算出等、順調に業務は進捗している。 引き続き、公共施設課と連携を図りながら、限られた工事費の中で最大限の成果が得られるような設計図書の作成に向けて、内容の精査を行っていく。 |
| | 事業評価 審査会 特記意見 | 長寿命化工事の実施にあたっては、財政負担が軽減されるよう精査することが望ましい。 政策的に 政策会議 評価・意見等 重点的に取り組む課題とする。 |
| | 主管課評価 | 1 事業評価審査会評価 1 1 重点的に取り組む 2 経常業務の一環として取り組む 3 見送ることとする |

| | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----------|--|---|----------|----------|-----------|--------|-----|-----|----------|-----------|-----|-----|--|----------|--------|------|--|
| 事後評価 | 実績 | ・第七小学校長寿命化改修工事実施設計等業務の実施 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | スケジュール | 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月 ← 第七小学校長寿命化改修工事実施設計等業務（契約日：平成28年7月1日・完了日：平成29年3月31日） → | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 事業の成果 (実績) | 平成27年度に策定した整備方針に基づき、平成29年度の工事実施に向けた第七小学校長寿命化改修工事実施設計等業務を実施し、安全で快適な教育環境の整備を推進することができた。 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 事業の総括 (主管課) | 平成29年度の工事実施に向けて、第七小学校長寿命化改修工事実施設計等業務を完了することができた。第七小学校の改修事業費については、事業の財源として国庫補助金を確実に確保するため、平成28年度3月補正予算に計上し、平成29年度に実施することとしている。現場調査と学校との協議を重ねながら、安全で快適な教育環境の整備に向けて、屋上防水、外壁改修、窓改修、照明改修に加え、非構造部材の耐震化、誰でもトイレの設置、校舎及び体育館の出入口スロープの設置等が計上された設計図書を完成することができた。 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 事業評価 審査会 評価・意見等 | <table border="1"> <tr> <td rowspan="4">予算 執行</td> <td>27年度実績</td> <td>28年度当初</td> <td>28年度実績</td> </tr> <tr> <td>予算額</td> <td>0千円</td> <td>16,336千円</td> <td>314,920千円</td> </tr> <tr> <td>決算額</td> <td>0千円</td> <td></td> <td>14,100千円</td> </tr> <tr> <td>執行率(%)</td> <td>0.0%</td> <td></td> <td>4.5%</td> </tr> </table> | 予算 執行 | 27年度実績 | 28年度当初 | 28年度実績 | 予算額 | 0千円 | 16,336千円 | 314,920千円 | 決算額 | 0千円 | | 14,100千円 | 執行率(%) | 0.0% | |
| 予算 執行 | 27年度実績 | 28年度当初 | | 28年度実績 | | | | | | | | | | | | | |
| | 予算額 | 0千円 | | 16,336千円 | 314,920千円 | | | | | | | | | | | | |
| | 決算額 | 0千円 | | | 14,100千円 | | | | | | | | | | | | |
| | 執行率(%) | 0.0% | | 4.5% | | | | | | | | | | | | | |
| 主管課評価 | 1 事業評価審査会評価 1 S 計画以上 1 計画どおり 2 計画の7割未満 3 その他(取組方針の変更等) | | | | | | | | | | | | | | | | |

平成28年度 「各部の運営方針と目標」掲載 ≪個別事業評価表≫

| | | | |
|-----|-------------|--------------|-------|
| 事業名 | 通学路の安全確保の充実 | 個別事業 掲載No | 教 — 6 |
|-----|-------------|--------------|-------|

| | |
|------|--|
| 当初計画 | 【事業概要】 学校、地域等が行う通学路における児童・生徒の見守り活動を補完し、安全確保の強化を図るため、東京都の補助制度を活用し、平成27年度までに設置完了した小学校5校に加え、新たに市立小学校4校の指定通学路に防犯カメラを設置する。あわせて、地域特性を踏まえ、市単独事業として市立中学校1校の通学路に防犯カメラを設置する。 【事業量】 ・設置対象校において、防犯カメラ設置場所検討協議会を開催（5校） ・市立小学校4校に各校5台、市立中学校1校に3台の防犯カメラを各校の通学路に設置 |
| | スケジュール 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月 都補助金交付申請及び交付決定 ○設置校への説明、準備 【各校】設置場所の選定 広報・HPによる周知 CS委員会等への情報提供 工事起工・契約・施工 設置完了○ |
| | 事業の成果 (目標) 市立小学校4校（第一小、第六小、井口小、東台小）に各校5台、市立中学校1校（第七中）に3台の防犯カメラを各校の通学路に設置し、安全確保の強化を図る。 |

| | |
|------|---|
| 中間評価 | 上半期の 実績・課題等 小学校4校において、それぞれ通学路防犯カメラ設置場所検討協議会をおき、学校・地域の関係者と地域の実情に応じた設置場所の検討を行った。各校から各5か所の設置予定場所の選定について報告を受けた後、東京都へ補助金の交付申請を行った。補助金の交付決定後は、速やかに設置工事に向けた取り組みを進める。なお、補助金の対象外である中学校1校についても、設置予定場所を検討中である。 |
| | 事業評価 審査会 特記意見 政策的に 評価・意見等 重点的に取り組む課題とする。 総務部安全安心課との連携を密にしなが ら事業を進めること。 |
| | 主管課評価 1 事業評価審査会評価 1 1 重点的に取り組む 2 経常業務の一環として取り組む 3 見送ることとする |

| | |
|--|--|
| 事後評価 | 実績 ・設置対象校において、防犯カメラ設置場所検討協議会を開催（5校） ・市立小学校4校（第一小、第六小、井口小、東台小）の通学路に各校5台、中学校1校（第七中）の通学路に3台の防犯カメラを設置 |
| | スケジュール 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月 都補助金交付申請及び交付決定 ○設置校への説明、準備 【各校】設置場所の選定 広報・HPによる周知 CS委員会等への情報提供 工事起工・契約・施工 設置完了○ |
| | 事業の成果 (実績) ・設置対象校において、防犯カメラ設置場所検討協議会を開催（5校） ・市立小学校4校（第一小、第六小、井口小、東台小）の通学路に各校5台、中学校1校（第七中）の通学路に3台の防犯カメラを設置 |
| | 事業の総括 (主管課) 都の補助制度を活用し、平成28年度は小学校4校の通学路に各5台の防犯カメラを設置した。設置場所については、各校において通学路防犯カメラ設置場所検討協議会を設け、学校をはじめPTAや交通安全対策地区委員会、青少年対策地区委員会等の地域関係者と検討を行い、地域の実情に応じた設置場所の選定を行うことにより、児童の安全確保の向上を図った。 また、地域特性を踏まえ、第七中学校の通学路については市単独で3台の防犯カメラを設置した。設置場所については、小学校と同様、通学路防犯カメラ設置場所検討協議会を設置し、市の事業で設置する大沢地区2台の防犯カメラとの調整を行い決定した。 |
| | 事業評価 審査会 評価・意見等 予算 執行 27年度実績 28年度当初 28年度実績 予算額 8,974千円 9,564千円 9,564千円 決算額 6,507千円 6,529千円 執行率(%) 72.5% 68.3% |
| 主管課評価 1 事業評価審査会評価 1 S 計画以上 1 計画どおり 2 計画の7割未満 3 その他(取組方針の変更等) | |

平成28年度 「各部の運営方針と目標」掲載 ≪個別事業評価表≫

| | | | |
|-----|------------------------|--------------|-------|
| 事業名 | 教育センターの耐震補強等工事に向けた取り組み | 個別事業 掲載No | 教 — 7 |
|-----|------------------------|--------------|-------|

| | | | | | | | | | | | | | |
|------|-----------|---|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|
| 当初計画 | 事業概要・事業量 | <p>【事業概要】 教育センターについて、耐震性の確保を図るとともに、老朽化した施設設備を更新するため、耐震補強等工事の実施に向けた取り組みを進める。</p> <p>【事業量】</p> <ul style="list-style-type: none"> 教育センター耐震補強等工事に伴う代替施設改修設計業務の実施 教育センター耐震補強等工事の実施に向けた取り組みの推進 | | | | | | | | | | | |
| | スケジュール | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
| | 事業の成果(目標) | <p>代替施設(保健センター)改修の実施設計(平成28年8月～平成29年2月) →</p> <p>教育センターの耐震補強等工事の実施設計(平成28年8月～平成29年6月) →</p> <p>教育センター耐震補強等工事の実施に向けた取り組みを進め、施設の耐震性の確保と老朽化への対応を図る。</p> | | | | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | | | | |
|------|-------------|---|----------------|----------------|--|--|--|--|--|--|--|--|
| 中間評価 | 上半期の実績・課題等 | 代替施設(総合保健センター)の改修工事实施設計及び教育センターの耐震補強工事实施設計の契約を締結した。今後は、実施設計に必要な事務とそれ以外に対応すべき事務を洗い出し、実施設計に含まれない事務所移転に伴う費用の積算をする。 | | | | | | | | | | |
| | 事業評価審査会特記意見 | | 政策会議 評価・意見等 | 重点的に取り組む課題とする。 | | | | | | | | |
| | 主管課評価 | 1 | 事業評価審査会評価 | 1 | 1 重点的に取り組む 2 経常業務の一環として取り組む 3 見送ることとする | | | | | | | |

| | | | | | | | | | | | | | |
|-------|---------------|---|------|--|--------|---------|----------|-----|-----|-----|----|----|----|
| 事後評価 | 実績 | <ul style="list-style-type: none"> 代替施設(総合保健センター)の改修工事实施設計の完了及び改修工事契約の締結 教育センター耐震補強等工事の実施設計 | | | | | | | | | | | |
| | スケジュール | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
| | 事業の成果(実績) | <p>代替施設(総合保健センター)改修の実施設計(平成28年8月～平成29年2月) →</p> <p>代替施設(総合保健センター)改修工事(平成29年3月～平成29年7月) →</p> <p>教育センターの耐震補強等工事の実施設計(平成28年8月～平成29年6月) →</p> <p>教育センター耐震補強等工事の実施に向け、実施設計業務の契約を締結し、設計を進めた。代替施設の改修に向けた設計を完了し、改修工事に着手した。</p> | | | | | | | | | | | |
| | 事業の総括(主管課) | <p>平成29年度からの耐震補強等工事の実施に向け、平成28年度6月補正予算に実施設計等委託料を計上し、設計を進めた。</p> <p>また、耐震補強等工事中の代替施設として活用する旧総合保健センターについて、改修工事实施設計を完了、12月補正予算に工事費を計上し、改修工事に着手した。</p> | | | | | | | | | | | |
| | 事業評価審査会評価・意見等 | 耐震補強等工事の実施にあたっては、教育センターのあり方を踏まえて取り組みを進めること。 | 予算執行 | | 27年度実績 | 28年度当初 | 28年度実績 | | | | | | |
| 主管課評価 | 1 | 事業評価審査会評価 | 1 | S 計画以上 1 計画どおり 2 計画の7割未満 3 その他(取組方針の変更等) | | | | | | | | | |
| | | | | 予算額 | 0千円 | 6,105千円 | 35,004千円 | | | | | | |
| | | | | 決算額 | 0千円 | | 22,234千円 | | | | | | |
| | | | | 執行率(%) | 0.0% | | 63.5% | | | | | | |

平成28年度 「各部の運営方針と目標」掲載 ≪個別事業評価表≫

| | | | |
|-----|--------------------|--------------|-------|
| 事業名 | 大沢二丁目古民家（仮称）の整備の推進 | 個別事業 掲載No | 教 — 8 |
|-----|--------------------|--------------|-------|

| | |
|------|---|
| 当初計画 | 【事業概要】 平成19年3月に寄贈を受けた大沢二丁目古民家（仮称）について、大沢の里公園内の中核的な文化財の1つとして平成30年度の公開を目指し、整備工事を行う。平成28年度は引き続き基本設計、実施設計を行い、解体工事等を実施する。また、地域団体や文化財保護審議会との協議、市民ボランティアの人財確保に向けた講座の開催、事業内容、管理運営計画の検討を行う。平成29年度は古民家の整備工事を行い、管理運営計画を策定するとともに、公の施設として設置条例の制定を検討する。平成30年度の外構工事完了後に施設を一般公開し、市民に向けた様々な体験学習や民具の展示を行うなど、地域文化財・地域観光の情報発信等の拠点として、三鷹型エコミュージアム事業の推進を図る。 【事業量】 ・基本設計、実施設計、解体設計、解体調査、解体工事の実施 ・管理運営計画、事業内容の検討 ・地域団体及び文化財保護審議会との協議、ボランティア人財確保に向けた講座の実施 |
| | スケジュール 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月 ← 基本設計・解体設計 → 実施設計 → ← 地域団体及び文化財保護審議会への協議、ボランティア人財確保に向けた講座、事業内容、管理運営計画の検討 → ← 解体調査・解体工事 → |
| | 事業の成果（目標） 基本設計、実施設計、解体設計、解体調査、解体工事を実施するとともに、施設の管理運営計画及び事業内容を検討する。また地域団体及び文化財保護審議会との協議、ボランティアの人財確保に向けた取り組みを行い、三鷹型エコミュージアム事業の推進を図る。 |

| | | | | |
|------|--|----------------|----------------|---|
| 中間評価 | 【実績】基本設計を完了し、文化財保護審議会との協議を行いながら、実施設計を行っている。またボランティアの人財確保に向けた講座を実施している。 【課題】平成29年度整備工事に関する国庫補助金の交付要件への適合や、解体工事と整備工事の連続施行による共通仮設費の削減を図るため、解体工事について期間を平成29年5月までとし、債務負担行為を設定することとした。なお、資材や労務費の上昇による解体工事費の増額のため、9月市議会で補正予算（減額補正）を組み、2年度に分けて対応する。 | | | |
| | 事業評価 審査会 特記意見 | 政策会議 評価・意見等 | 重点的に取り組む課題とする。 | |
| | 主管課評価 | 1 | 事業評価審査会評価 | 1 |

| | | | | | | | |
|-------|--|---|----------|--|---------|----------|----------|
| 事後評価 | 実績 ・基本設計、実施設計及び解体工事・調査の実施。 ・三鷹型エコミュージアム事業の推進 | | | | | | |
| | スケジュール 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月 ← 基本設計・解体設計 → 実施設計 → ← 地域団体及び文化財保護審議会への協議、ボランティア人財確保に向けた講座、事業内容、管理運営計画の検討 → ← 解体調査・解体工事 → | | | | | | |
| | 事業の成果（実績） ・整備に向けた基本設計・実施設計の完了及び解体工事及び解体調査の着手。 ・地域団体及び文化財保護審議会との協議及び協議内容の実施設計への反映。 ・施設の管理運営計画及び事業内容の検討並びにボランティアの人財確保のための講座の実施。 ・解体調査見学会の実施等、三鷹型エコミュージアム事業の推進。 | | | | | | |
| | 事業の総括（主管課） 整備に向けた基本設計・実施設計を完了し、解体工事及び解体調査に着手した。設計に際しては、地域団体及び文化財保護審議会との協議を行い、今後積極的な利活用が可能となるよう、実施設計に反映させた。また、施設の管理運営計画及び事業内容を検討し、施設の特徴を活かした体験学習や展示を行うためのボランティアの人財確保に向けた講座等を実施した。さらに解体調査により明らかになった、建物の歴史を市民に伝えていくため、解体調査見学会を実施するなど、三鷹型エコミュージアム事業の推進を図った。本年度の課題は予定どおり達成できた。 | | | | | | |
| | 事業評価 審査会 評価・意見等 | 引き続き、地域団体や関係機関と連携し、平成30年度の一般公開に向けた取り組みを進めてもらうことが望ましい。 | 予算 執行 | 27年度実績 | 28年度当初 | 28年度実績 | |
| 主管課評価 | 1 | 事業評価審査会評価 | 1 | 予 算 額 | 3,564千円 | 19,475千円 | 12,244千円 |
| | | | | 決 算 額 | 2,140千円 | | 11,955千円 |
| | | | | 執 行 率（%） | 60.0% | | 97.6% |
| 主管課評価 | 1 | 事業評価審査会評価 | 1 | S 計画以上 1 計画どおり 2 計画の7割未満 3 その他（取組方針の変更等） | | | |

平成28年度 「各部の運営方針と目標」掲載 ≪個別事業評価表≫

| | | | |
|-----|-----------------------------|--------------|-------|
| 事業名 | 学校給食の充実と効率的な運営の推進及び市内産野菜の活用 | 個別事業 掲載No | 教 — 9 |
|-----|-----------------------------|--------------|-------|

| | |
|------|--|
| 当初計画 | 【事業概要】 学校給食調理業務の委託化を推進し、学校給食の充実と効率的運営を図る。 市内産の野菜を積極的に学校給食に取り入れることにより、新鮮でおいしい給食を提供するとともに、地産地消を促す。 【事業量】 ・平成28年度から新たに羽沢小及び第七中で給食調理業務委託を開始 ・平成29年度から大沢台小における給食調理業務委託の開始及び既委託校（南浦小、第四小、東台小、第一中、第五中）の委託業者見直しに向けた業者選定 ・「学校給食等への市内産野菜活用推進チーム」及び「学校給食における市内産野菜活用推進連絡協議会」において、供給システムの構築などの市内産野菜の使用率向上に向けた具体的な検討 |
| | スケジュール 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月 ○給食調理業務委託開始（羽沢小・第七中） ○保護者説明会（大沢台小） ○業者決定（契約） ○競争入札等 審査委員会 ○募集要項配布・説明会 ○競争入札等審査委員会 業者選定審査委員会（3回） 【市内産野菜の活用】 庁内プロジェクト・チーム及びJA東京むさしと連携した協議会での検討 |
| | 事業の成果（目標） 羽沢小及び第七中の2校で新たに給食調理業務委託を開始するとともに、平成29年度から1校の新規委託及び既委託5校の委託業者の見直しに向けた業者選定を行い、平成29年度4月時点の委託校を計16校とする。（最終目標年次・平成34年度までに全22校で委託化達成）。 また、野菜の集約、調整、配送等供給システムの構築など具体的検討を行い、市内産野菜の使用率向上をめざす。 |

| | |
|------|--|
| 中間評価 | 上半期の実績・課題等 ・4月に委託を開始した羽沢小学校・第七中学校において、学校給食運営協議会を設置し、7月の会議の中で運営状況等を確認した。また、平成29年度からの新規委託校（大沢台小学校）において、給食調理業務委託に関する保護者説明会を7月に開催した。今後は、新規（大沢台小）及び見直し（第四小・南浦小・東台小・第一中・第五中）対象校の委託業者選定に向けたプロポーザルの実施や準備と、平成30年度に予定する新規委託校及び見直し校の選定を行う。 ・市内産野菜の使用率向上に向けて、供給システムの構築や品目の選定など具体的な方策の検討を行っている。 |
| | 事業評価審査会 特記意見 政策的に評価・意見等 重点的に取り組む課題とする。 |
| | 主管課評価 1 事業評価審査会評価 1 1 重点的に取り組む 2 経常業務の一環として取り組む 3 見送ることとする |

| | |
|--|---|
| 事後評価 | 実績 ・羽沢小学校及び第七中学校で給食調理業務委託を開始し、委託校は全15校になった。 ・平成29年度から大沢台小学校の給食調理業務委託の開始及び既委託校（第四小学校・南浦小学校・東台小学校・第一中学校・第五中学校）の委託業者見直しに向けた業者選定作業を完了し、契約締結した。 ・JA東京むさしと連携を図り市内産野菜の使用率向上に向けた供給システムの構築など検討した。 |
| | スケジュール 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月 ○給食調理業務委託開始（羽沢小・第七中） ○保護者説明会（大沢台小） ○業者決定（契約） ○競争入札等 審査委員会 ○募集要項配布・説明会 ○競争入札等審査委員会 業者選定審査会(3回) ○「三鷹産野菜カレーの日」 【市内産野菜の活用】 JA東京むさしと連携した協議会での検討 |
| | 事業の成果（実績） ・羽沢小学校及び第七中学校の給食調理業務委託を開始し、委託校は全15校になった。 ・平成29年度から大沢台小学校の給食調理業務委託の開始及び既委託校（第四小学校・南浦小学校・東台小学校・第一中学校・第五中学校）の委託業者見直しに向けた業者選定作業を完了し、契約を締結した。 ・JA東京むさしと連携し、市内産野菜の使用率向上に向けた野菜の集約、調整、配送等の供給システムの構築などの検討を行った。また、11月には、市内全小学校の給食で、JA東京むさしから提供を受けた市内産の野菜を使用した、「三鷹産野菜カレーの日」を実施した。 |
| | 事業の総括（主管課） 羽沢小学校及び第七中学校の給食調理業務委託を平成28年4月から開始した。また、平成29年度から委託を開始する大沢台小学校、委託開始から5年目を迎える第四小学校、南浦小学校、東台小学校、第一中学校、第五中学校の事業者をプロポーザル方式により決定した。 委託を開始した羽沢小学校及び第七中学校には、保護者、学校、委託業者、教育委員会事務局で構成する「学校給食運営協議会」を新たに設置し、7月と2月に会議を開催した。その他委託実施校についても、1月～2月に会議を開催し、各校における良好な運営状況を確認するとともに、安全でおいしい給食の充実と効率的な運営を図ることができた。 「学校給食における市内産野菜活用推進連絡協議会」などの会議において、JA東京むさしと連携しながら学校給食における市内産野菜の使用率向上に向けた検討を行った。 |
| | 事業評価審査会 評価・意見等 予算執行 27年度実績 28年度当初 28年度実績 予算額 339,468千円 389,124千円 389,124千円 決算額 339,433千円 387,468千円 執行率(%) 100.0% 99.6% |
| 主管課評価 1 事業評価審査会評価 1 S 計画以上 1 計画どおり 2 計画の7割未満 3 その他（取組方針の変更等） | |

平成28年度 「各部の運営方針と目標」掲載 ≪個別事業評価表≫

| | | | |
|-----|--------------------|--------------|--------|
| 事業名 | 中学校特別教室等の空調設備整備の推進 | 個別事業 掲載No | 教 — 10 |
|-----|--------------------|--------------|--------|

| | |
|-----------|--|
| 当初計画 | 【事業概要】 中学校の空調設備が未整備の特別教室等（44教室）のうち、平成27年度に新たに東京都の補助対象となった23教室の特別教室（木工室、美術室等）について、空調設備設置工事を行い、良好な教室環境を整備する。 なお、各校への空調設備の整備にあたっては、国・東京都の補助制度による財源確保に努める。 |
| | 【事業量】 ・空調設備設置工事（Ⅱ期）設計等業務の実施 ・空調設備設置工事（Ⅱ期）の実施（6校23教室：整備済みの第三中学校を除く全中学校） |
| | スケジュール 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月 空調設備設置工事（Ⅱ期）設計等業務（契約日：平成28年4月22日・完了予定日：平成28年7月31日） 空調設備設置工事（Ⅱ期）（契約日：平成28年9月下旬・完了予定日：平成29年2月28日） |
| 事業の成果（目標） | 中学校の空調設備が未整備の特別教室（木工室、美術室等）23教室について、空調設備設置工事を実施し、良好な教室環境を整備する。 |

| | | |
|------|-------------|---|
| 中間評価 | 上半期の実績・課題等 | 予定どおり設計業務が完了した。 工事の実施にあたっては、公共施設課と連携を図りながら安全かつ円滑に工事が進むように進行管理に努めていく。 |
| | 事業評価審査会特記意見 | 政策的に評価・意見等 重点的に取り組む課題とする。 |
| | 主管課評価 | 1 事業評価審査会評価 1 1 重点的に取り組む 2 経常業務の一環として取り組む 3 見送ることとする |

| | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|--|--|------|-----------|-----------|--------|-----|-----------|-----------|-----------|-----|----------|--|----------|--------|-------|--|
| 事後評価 | 実績 | ・空調設備設置工事（Ⅱ期）設計等業務の実施 ・空調設備設置工事（Ⅱ期）の実施（6校23教室：整備済みの第三中学校を除く全中学校） | | | | | | | | | | | | | | | |
| | スケジュール | 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月 空調設備設置工事（Ⅱ期）設計等業務（契約日：平成28年4月22日・完了日：平成28年7月31日） 第一中学校他1校空調設備設置工事（Ⅱ期）（契約日：平成28年10月17日・完了日：平成29年3月15日） 第二中学校他1校空調設備設置工事（Ⅱ期）（契約日：平成28年11月10日・完了日：平成29年2月28日） 第五中学校他1校空調設備設置工事（Ⅱ期）（契約日：平成28年10月17日・完了日：平成29年2月28日） | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 事業の成果（実績） | 中学校の空調設備が未整備の特別教室（木工室、美術室等）23教室について、空調設備設置工事を実施し、良好な教室環境を整備することができた。 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 事業の総括（主管課） | 平成27年度から計画的に進めてきた中学校特別教室等61教室の空調設備整備について、国・東京都の補助制度による財源確保に努めながら、木工室、美術室等23教室の整備工事を実施した。平成27年度に整備した17教室と合わせて、合計40教室の空調整備を完了することができた。残る21教室の空調設備整備については、事業の財源として国庫補助金を確実に確保するため、整備工事費を平成28年3月補正予算に計上し、平成29年度に実施することとしている。 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 事業評価審査会評価・意見等 | <table border="1"> <tr> <td rowspan="4">予算執行</td> <td>27年度実績</td> <td>28年度当初</td> <td>28年度実績</td> </tr> <tr> <td>予算額</td> <td>101,301千円</td> <td>113,159千円</td> <td>190,062千円</td> </tr> <tr> <td>決算額</td> <td>80,511千円</td> <td></td> <td>91,643千円</td> </tr> <tr> <td>執行率（%）</td> <td>79.5%</td> <td></td> <td>48.2%</td> </tr> </table> | 予算執行 | 27年度実績 | 28年度当初 | 28年度実績 | 予算額 | 101,301千円 | 113,159千円 | 190,062千円 | 決算額 | 80,511千円 | | 91,643千円 | 執行率（%） | 79.5% | |
| 予算執行 | 27年度実績 | 28年度当初 | | 28年度実績 | | | | | | | | | | | | | |
| | 予算額 | 101,301千円 | | 113,159千円 | 190,062千円 | | | | | | | | | | | | |
| | 決算額 | 80,511千円 | | | 91,643千円 | | | | | | | | | | | | |
| | 執行率（%） | 79.5% | | 48.2% | | | | | | | | | | | | | |
| 主管課評価 | 1 事業評価審査会評価 1 S 計画以上 1 計画どおり 2 計画の7割未満 3 その他（取組方針の変更等） | | | | | | | | | | | | | | | | |

平成28年度 「各部の運営方針と目標」掲載 ≪個別事業評価表≫

| | | | |
|-----|-------------------------------------|----------|--------|
| 事業名 | 図書館の基本的な運営方針の策定に向けた取り組みと図書館サービス網の再編 | 個別事業掲載No | 教 — 11 |
|-----|-------------------------------------|----------|--------|

| | |
|------|--|
| 当初計画 | 【事業概要】 平成29年6月の策定に向けて図書館の基本的な運営方針の素案を作成する。井の頭コミュニティ・センター図書室との連携内容を決定し、システム改修の準備と必要な予算計上を行う。新移動図書館車の活用方法を決定し、巡回ステーションの見直しを行う。ラッピングの決定、新車両借上手続き等を実施。下連雀図書館閉館に向け資料整理、閉館準備、クロージングイベントを行う。 |
| | 【事業量】 課内に設置したプロジェクトチームで検討。方針、図書館車については市民アンケートを実施。コミュニティ・センター図書室については住民協議会・コミュニティ文化課との調整を実施。下連雀図書館は閉館及び資料引継準備、イベント実施。 |
| | スケジュール 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月 方針 方向性検討 市民アンケート プロジェクトチームでの検討・図書館協議会との調整 素案確定 コミセン ヒアリング・調整 予算化 住協、コミュニティ文化課との調整・システム修正準備 図書館車 活用案・車両改造案確定・ラッピング確定、入札 車両改造開始(3月まで) ステーション配置確定、広報 下連閉館 プロジェクトチームでの検討・社協との調整 所蔵資料整理、引き継ぎ準備、閉館準備、クロージングイベント開催 |
| | 事業の成果(目標) 図書館の基本的な運営方針の素案の確定、井の頭コミュニティ・センター図書室連携内容等の確定、移動図書館車の活用法及び巡回ステーションの配置見直し、下連雀図書館の閉館・クロージングイベント、資料引継準備 |

| | |
|------|---|
| 中間評価 | 上半期の実績・課題等 方針は、教育部内での検討、図書館協議会との調整を進めている。時期を変更し実施するアンケート結果を踏まえ、素案づくりに着手する。 コミュニティ・センター図書室(CC)連携は、運用方法等を決定し、予算編成の準備を進めている。 課題は、連携に向けた図書館システム改修である。 移動図書館は、車両ラッピングを決定し、車両リース契約を依頼した。他市視察や巡回ステーション(ST)候補地選定を進め、きめ細やかなサービス展開へ検討が進んでいる。STの地権者・管理者等との調整が課題である。 下連雀図書館は、閉館、資料引継ぎに向けた準備を進めている。 |
| | 事業評価審査会特記意見 政策的に取組む課題とする。 |
| | 主管課評価 1 事業評価審査会評価 1 1 重点的に取り組む 2 経常業務の一環として取り組む 3 見送ることとする |

| | |
|---|---|
| 事後評価 | 実績 市民アンケートの実施、図書館協議会での検討を踏まえ、図書館の基本的運営方針の素案作成に着手した。C・C図書室との連携では、運用方法等を決定し、図書館システムの改修に向け準備を進めた。移動図書館車の活用方法の検討に加え、巡回日数の増、巡回ステーションの配置見直し及び増設を行った。下連雀図書館閉館では、リサイクル市やおはなし会などのクロージングイベントを実施するとともに、図書資料の引継準備を進めた。 |
| | スケジュール 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月 方針 方向性検討 市民アンケート プロジェクトチームでの検討・図書館協議会との調整 素案検討 コミセン ヒアリング・調整 予算化 住協、コミュニティ文化課との調整・システム修正準備 図書館車 活用案・車両改造案確定・ラッピング確定、入札 車両改造開始(3月まで) ステーション配置確定、広報 下連閉館 プロジェクトチームでの検討・社協との調整 所蔵資料整理、引き継ぎ準備、閉館準備、クロージングイベント開催 |
| | 事業の成果(実績) ・基本的運営方針：プロジェクトによる検討、市民アンケートの実施、市民ニーズを踏まえた素案検討、図書館協議会との調整 ・C・C図書室との連携：運用面の課題を洗い出し、運用方法等決定。図書館システムの改修準備 ・移動図書館車：巡回ステーションの配置見直し、巡回ステーションの増設(13か所から19か所へ)、巡回日数の増(週3日から4日へ)、車両ラッピングのデザイン作製、車両改造 ・下連雀図書館閉館：リサイクル市、おはなし会などのクロージングイベント開催、所蔵替え準備 |
| | 事業の総括(主管課) 市民アンケートでは、三鷹市立図書館の強み弱みを明確にすることができ、市民ニーズを踏まえ、基本的運営方針の素案作成に着手することができた。C・C図書室との連携では、地域の図書室としての特色を活かし、市立図書館サービスを展開する拠点としての役割を理解していただき、パートナーとして十分に協議・検討することができた。移動図書館車では、巡回日数を増やすとともに、巡回ステーションの配置見直しのため市内をくまなく巡回し、利用実態に合ったステーションの配置見直しとステーション数の増設により、市内全域にきめ細かな図書館サービス拠点を配置した。車両ラッピングでは、三鷹市のイメージに合うデザインを作製することができた。下連雀図書館閉館では、閉館後速やかに所蔵する資料の所蔵替えができる準備を進めるとともに、社会教育会館と連携し、クロージングイベントを開催することができた。 |
| 事業評価審査会評価・意見等 予算執行 27年度実績 28年度当初 28年度実績 予算額 0千円 962千円 962千円 決算額 0千円 961千円 執行率(%) 99.9% | |
| 主管課評価 1 事業評価審査会評価 1 S 計画以上 1 計画どおり 2 計画の7割未満 3 その他(取組方針の変更等) | |

平成28年度 「各部の運営方針と目標」掲載 ≪個別事業評価表≫

| | | | |
|-----|--------------------------|--------------|-------------|
| 事業名 | オリンピック・パラリンピック教育と普及啓発の推進 | 個別事業 掲載No | 教 ー 12 ① |
|-----|--------------------------|--------------|-------------|

| | |
|------|---|
| 当初計画 | 【事業概要】 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、すべての市立小・中学校において、「4つのテーマ」（オリンピック・パラリンピックの精神、スポーツ、文化、環境）と「4つのアクション」（学ぶ、観る、体験・交流する、支える）を組み合わせた多様な教育プログラムを実施する。各学校においては、学習読本等の教材を活用し、すべての教育活動に関連付けるとともに、今年度開催される2016年リオデジャネイロオリンピック・パラリンピック競技大会を契機ととらえ、オリンピック・パラリンピック教育を組織的・計画的に展開する。 【事業量】 全市立小・中学校においてオリンピック・パラリンピック教育を推進する。「オリンピック・パラリンピック教育推進委員会」を新たに設置し、国や東京都の情報を適切に発信するとともに、オリンピック・パラリンピック教育の効果的な実践や指導法について市内の小・中学校への普及・啓発を行う。 |
| | スケジュール 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月 オリンピック・パラリンピック教育の各学校での展開 オリンピック・パラリンピック教育推進委員会の実施（6月～2月 計5回予定） 研究授業の実施（2回程度） 普及啓発資料の作成・発信 |
| | 事業の成果（目標） 全市立小・中学校でオリンピック・パラリンピック教育を年間35時間以上実施。「オリンピック・パラリンピック教育推進委員会」を年間5回実施。オリンピック・パラリンピック教育研究授業の実施。普及啓発のための資料作成。 |

| | |
|-------|---|
| 中間評価 | 上半期の実績・課題等 全市立小・中学校で、オリンピック・パラリンピック教育を推進中。「オリンピック・パラリンピック教育推進委員会」を2回実施。残る3回については、学校でのオリンピック・パラリンピック教育に関する研究授業を実施し、普及啓発のための資料を作成する。 |
| | 事業評価 審査会 特記意見 政策的に 重点的に取り組む課題とする。 |
| | 政策会議 評価・意見等 |
| 主管課評価 | 1 事業評価審査会評価 1 1 重点的に取り組む 2 経常業務の一環として取り組む 3 見送ることとする |

| | |
|-------|--|
| 事後評価 | 実績 ・全市立小・中学校においてオリンピック・パラリンピック教育を教育課程に位置付け、各校35時間以上実施。 ・「オリンピック・パラリンピック教育推進委員会」を設置し、年間5回実施。国や東京都の情報の共有、重点校の取り組みや市内の効果的な実践・指導法について普及・啓発を行った。 |
| | スケジュール 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月 オリンピック・パラリンピック教育の各学校での展開 オリンピック・パラリンピック教育推進委員会の実施（6月～2月 計5回） 研究授業の実施・重点校実践報告会（南浦小） 普及啓発資料の作成・発信 |
| | 事業の成果（実績） ・全市立小・中学校で、オリンピック・パラリンピック教育を35時間以上実施。オリンピックやパラリピアンを招聘した講演や実技指導等、調べ学習、外国人との交流など様々な活動が展開された。 ・「オリンピック・パラリンピック教育推進委員会」を年間5回実施し、各校の効果的な取り組みや重点校の取り組みを共有した。 ・オリンピック・パラリンピック教育重点校（南浦小）の研究授業、実践報告会を実施した。 ・実践事例集の作成 |
| | 事業の総括（主管課） 平成28年度より、全小・中学校が「オリンピック・パラリンピック教育」の全体計画及び年間指導計画を作成し、継続的に取り組んできた。各校の取り組みは多岐にわたり、オリンピックやパラリピアンを招聘した講義や実技指導、調べ学習、外国人との交流など様々な活動が展開され、「オリンピック・パラリンピック教育推進委員会」を通じ、効果的な取り組みの共有化を図った。なお、東京都教育委員会の指定校（オリンピック・パラリンピック教育重点校（南浦小）、オリンピックやパラリピアンへの派遣を実施する「YOKOSOプログラム」（第二小、東台小）、外国人アスリートの派遣によりスポーツを通じた交流及び外国の文化・習慣について学ぶ「Welcomeプロジェクト」（第五中））における取り組みの共有化を図った。 平成29年度は、各校の取り組みをさらに充実・発展させるとともに、新たに申請したオリンピック、パラリピアンへの派遣による特別講演・競技紹介・実技指導を行う「夢・未来プロジェクト」、「パラリンピック競技応援校」等の取り組みの共有化を図り、更に関係機関との連携を進めることで、オリンピック・パラリンピック教育の推進を図る。 |
| | 事業評価 審査会 評価・意見等 予算執行 27年度実績 28年度当初 28年度実績 予算額 5,500千円 6,800千円 6,800千円 決算額 5,188千円 6,304千円 執行率(%) 94.3% 92.7% |
| 主管課評価 | 1 事業評価審査会評価 1 S 計画以上 1 計画どおり 2 計画の7割未満 3 その他（取組方針の変更等） |

平成28年度 「各部の運営方針と目標」掲載 ≪個別事業評価表≫

| 事業名 | | オリンピック・パラリンピック教育と普及啓発の推進 | | | | | | | | | | 個別事業 掲載No | 教 — 12 ② | |
|-------------------|---|--|-------------|----|----|----|----|---|-----|-----|----------|--|--|---------|
| 当初計画 | 事業概要・事業量 | <p>【事業概要】 東京都等と連携を図りながら実施する気運醸成事業において、2016年リオデジャネイロオリンピック・パラリンピック競技大会を契機に、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の普及啓発を図る。 乗馬や馬術に関連した事業、三鷹市出身のオリンピックを講師に招いたバレーボール教室、ボッチャ教室、みたかスポーツフェスティバルや三鷹市民駅伝大会等において、オリンピック・パラリンピックとスポーツの素晴らしさについて普及啓発する。また、スポーツを「支える」ボランティアの育成事業（養成講座等）においても同様に実施する。さらに、三鷹市体育協会加盟団体など各スポーツ団体が実施する事業においても、普及啓発活動の実施について促進する。</p> <p>【事業量】 ・教室等の開催：愛馬の日、バレーボール教室、ボッチャ教室、スポーツボランティア育成事業 ・その他：みたかスポーツフェスティバル、三鷹市民駅伝大会</p> | | | | | | | | | | | | |
| | スケジュール | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | |
| | | ○愛馬の日① ← オリンピアンによるバレーボール教室、ボッチャ教室 → ○スポーツボランティア養成講座 | | | | | | ○愛馬の日② ○みたかスポーツフェスティバル ○三鷹市民駅伝大会 | | | | | | |
| 事業の成果（目標） | 教室等各種事業と普及啓発活動を実施することで、オリンピック・パラリンピックに向けて気運醸成を図るとともに、スポーツを「支える」ボランティアを育成する。 | | | | | | | | | | | | | |
| 中間評価 | 上半期の実績・課題等 | <p>1 実績 ①バレーボール教室開催（5月～9月、多治見麻子氏、狩野舞子氏、榛澤舞子氏）：参加者各回約60人 ②ボッチャ教室等開催（教室：5/26、6/10、7/20、9/8、16、研修：5/23、8/26）：参加者各回約30人 ③スポーツボランティア養成講座開催（6/24、小谷実可子氏）：参加者26人 ④三鷹愛馬の日開催（7/10）：10家族</p> <p>2 課題 オリンピック・パラリンピックの気運醸成を図るため、継続的な取組が必要である。ボッチャの普及については、これからの展開を見据え、次年度以後の実施方法（体制含む。）とそれに向けたスタッフの育成が必要である。また、スポーツボランティアについては、実際の事業への参加と継続的な活動が必要である。今年度は、2016みたかスポーツフェスティバルへの参加を募集（公募）し、実施する予定である。</p> | | | | | | | | | | | | |
| | 事業評価審査会 特記意見 | | | | | | | | | | | 政策会議 評価・意見等 | 重点的に取り組む課題とする。 | |
| | 主管課評価 | 1 | 事業評価審査会評価 1 | | | | | | | | | | 1 重点的に取り組む 2 経常業務の一環として取り組む 3 見送ることとする | |
| 事後評価 | 実績 | <p>①バレーボール教室開催（5月～10月）：参加者221人（延べ）、②ボッチャ教室等開催（出前教室：5/26、6/10、7/20、9/8、10/18、研修：5/23、8/26）：参加者198人（延べ）、③スポーツボランティア養成講座開催（6/24）：参加者26人、④馬事業 愛馬の日開催：7/10 参加10家族（応募34組）、12/18 参加10家族（応募49組）、市内保育園における関連事業 3/13 園児78人、乗馬体験等と馬への理解に関する講座（第一小学校）：参加者100人、⑤歌舞伎体操教室開催（9/9、10）：参加者98人（延べ）、⑥スポーツボランティア研究：三鷹市民のスポーツボランティアに対する意識等に関するアンケート及びスポーツ活動ニーズ調査、⑦みたかスポーツフェスティバル同時開催：親子でのダンス体験会（10/9）、「楽しみながら子どもを伸ばす方法」についてのトークショー（10/9）、⑧三鷹市民駅伝大会同時開催：「走りっこ教室」（11/20）</p> | | | | | | | | | | | | |
| | スケジュール | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | |
| | | ○愛馬の日① ← オリンピアンによるバレーボール教室、ボッチャ教室 → ○スポーツボランティア養成講座 | | | | | | ○歌舞伎体操教室 ○愛馬の日② ○三鷹市民駅伝大会 ○みたかスポーツフェスティバル → 乗馬体験等・馬への理解に関する講座 | | | | | | |
| | 事業の成果（実績） | 教室等各種事業と普及啓発活動を実施するとともに、スポーツボランティアの育成を行うことで、運動やスポーツを「する」、「みる」、「支える」機会を提供するとともに、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた気運を醸成することができた。また、今後のスポーツの推進に向け、地域での事業実施のための地盤、ネットワーク及びプログラムの足掛かりを築くとともに、スポーツボランティアの仕組みを構築する基礎資料を得ることができた。 | | | | | | | | | | | | |
| 事業の総括（主管課） | スポーツボランティア養成講座に参加した方を含め、みたかスポーツフェスティバルに公募市民の方々（10人）が、当日のスタッフとして運営に携わった。また、地域のスポーツクラブ、学校、大学、NPO等各種団体（以下「各種団体等」という。）と連携・協働して事業に取り組んだ。東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の気運醸成と運動・スポーツの推進には、継続的な取組が必要であり、それには地域で活動を確保することに留意する必要がある。そのために、各種団体等との協働、地域の指導者及びリーダーとの連携を更に進め、それぞれにとって有意義で効果的な活動としたい。 | | | | | | | | | | | | | |
| 事業評価審査会 評価・意見等 | | | | | | | | | | | 予算 執行 | 27年度実績 | 28年度当初 | 28年度実績 |
| | | | | | | | | | | | 予算額 | 0千円 | 4,900千円 | 4,930千円 |
| | | | | | | | | | | | 決算額 | 0千円 | | 4,903千円 |
| | | | | | | | | | | | 執行率（%） | 0.0% | | 99.5% |
| 主管課評価 | 1 | 事業評価審査会評価 1 | | | | | | | | | | S 計画以上 1 計画どおり 2 計画の7割未満 3 その他（取組方針の変更等） | | |